令和6年度(2024年度)美術科年間指導計画【第3学年】

評価 方法

ア 作品 イ ワークシート・振り返りシート ウ 学習・制作記録 エ 定期試験 オ 提出物(作品・ワークシート・課題プリント・宿題等) カ 授業態度 キ 発言・発表

教科	教科横断的視点: 他教科関連(教科名)			内容		
	題	時数		評価基準		
月	材名		学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション	1	○1年間の学習にむけて内容や心構えを確認する。 ○谷川俊太郎の文「うつくしい!」の文をきっかけにして「阿修羅像」の造形を鑑賞し感じたことなどを他者と意見交換し、見方や感じ方を深める。	「阿修羅像」の形や色が感情にも たらす効果や作品の造形的な特徴 をもとに古の人々の「阿修羅像」に 託した思いなどを全体のイメージ や作風で捉えることを理解してい る。	「阿修羅像」の造形的なよさや美しさを感じ取りと谷川俊太郎の「うつくしい!」の文と照らし合わせ表現の意図や工夫を考えるなどして美意識を考えるなどして見方や感じ方を深めている。	態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品がつくられた背景をもとに作者の表現意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
5 6	躍動感を捉える	1 0	○躍動感を捉えた表現に関心をもち、人の動きをじっくり観察することから主題を生み出す。 ○主題をもとに、ポーズや構図などの構成を練る。 ○針金や粘土などの特性をいかして、工夫して創作する。 ○完成作品した鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。	形や色、材料などが感情をもたらす効果や造形的な特徴をもとに人の動きの躍動感を全体のイメージで捉えることを理解している。 針金や粘土などの特性をいかし、 意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	人の動きをじっくり観察することから主題を生み出し、躍動感が伝わるように単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫して心豊かに表現する構想を練っている。 躍動感を捉えた作品の造形的なよさや美しさなどを感じ取り、躍動感をおさなどを感じ取り、躍動感をあらわすための表現の工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、人の動きを捉え、躍動感が伝わるように作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に躍動感をあらわすための表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
				アイウエ	アイウ	イウオカキ

月	題	時数	学習内容	評価基準		
	材			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	名	_		7	12 0 1400 1400	
	絵	2	○絵巻物と漫画を鑑賞し、よ	色や形、材料などが感情をもたら	絵巻物と漫画の造形的なよさや美	
9	巻		さや美しさを感じ取る。	す効果や造形的な特徴をもとに絵	しさを感じ取り時代を超えた表現の	体的に絵巻物と漫画から時代を超えた
	物		○絵巻物と漫画の時代を超	巻物と漫画の共通点や違いを全体	共通点や違いを考えるなどして美意	表現の共通点や違いを考える鑑賞の学
	ک س		えた表現の共通点や違いを	のイメージや作風で捉えることを	識を高め、美術文化への見方や感じ	習活動に取り組もうとしている。
	漫		感じ取り美術文化への見方	理解している。	方を深めている。	
1.0	画		や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたこと			
1 0	の		○感したことや考えたこと を話し合い他者の考えに関			
	表現		を話し合い他名の考えに関し心をもち、作品の見方を広げ	イウエ	/ 🕁	/
	- 現		心をもら、作前の見力を払け る。	1171	イウ	イウオカキ
	今	1 2	○自画像など自分をあらわ	形や色、材料、光などが感情をも	今の自や将来の自分を深く見つめ	美術の創造活動の喜びを味わい、主
	の		した作品に関心をもち、今の	たらす効果や造形的な特徴をもと	感じ取ったことや考えたことをもと	体的に今の自や将来の自分をテーマに
11	自		自や将来の自分を深く見つ	に、自分らしさや描かれた自分に託	に主題を生み出し、単純化や省略、」	自分自身を作品にあらわす表現の学習
	分		め感じ取ったことや考えた	した思いなどを全体のイメージで	強調、材料の組み合わせなどを考え、	活動に取り組もうとしている。
	`		ことをもとに主題を生み出	捉えることを理解している。	創造的な構成を工夫して、構想を練	
	٦		す。		っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主
	れ		○主題をもとに形や色、構図	自分のあらわしたい表現に合っ	自画像など自分をあらわした作品	
1 2	カュ		などの構成を練る。	た材料や用具を選択し、意図に応じ	の造形的なよさや美しさを感じ取	
	ら		○形や色、材料、構図などを	て自分の表現方法を追求して創造	り、作者の思いや表現の工夫などに	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	0		工夫して創作する。	的にあらわしている。	ついて考えるなどして美意識を高	している。
	自		○完成作品した鑑賞し合い、	_	め、見方や感じ方を深めている。	
	分		意図や工夫を感じ取る。	アイウエ	アイウ	イウオカキ
1	墨	8	○墨による表現に関心をも	墨の性質や質感などが感情にも	墨の表現のさまざまな効果をもと	
1	で		ち墨ならではの効果をもと	たらす効果や余白の効果、造形的な	に主題を生み出し、単純化や省略、強	体的に墨の効果を生かして作品を描く
	描		に主題を生み出す。	特徴をもとに墨の世界を全体のイ	調などを考え、創造的な構成を工夫	
	<		○主題をもとに、墨の特性を	メージで捉えることを理解してい	し心豊かに表現する構想を練ってい	- 9
			生かして構想を練る。	る。	る。	美術の創造活動の喜びを味わい、主
			○墨の表現や余白の生かし		墨の表現の豊かさや余白により生	
			方などを工夫して制作する。	墨の特性を生かし、意図に応じて	まれる美しさを感じ取り作者の心情	,
			○完成作品した鑑賞し合い	自分の表現方法を追求して、創造的	や表現の意図と造形的な工夫などに	学習活動に取り組もうとしている。
2			意図や工夫を感じ取り話し	にあらわしている。	ついて考えるなどして、美意識を高	
			合う。	_ , , _	め、見方や感じ方を深めている。	,
				アイウエ	アイウ	イウオカキ

月	題	時数	学習内容	評価基準		
	材名			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	がルニカ 明日への	4	○「ゲルニカ」を鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取る。 ○作品が描かれた背景や作者について知り、美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い他者の考えに関心をもち、作品の見方を広げ	効果や造形的な特徴をもとに、ピカ ソがゲルニカに託した思いなどを 全体のイメージや作風で捉えるこ	ゲル二カや、その他のピカソの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品が作られた背景などをもとに作者の表現の意図や工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	体的に作品がつくられた背景をもと に、作者の表現の意図や工夫を感じ取 る鑑賞の学習活動に取り組もうとして
	思い		る。			